

仕様書

1. 名称

困難をかかえるこども・若者の自立に関する実態と支援方策の調査業務

2. 目的

児童養護施設退所者等の社会的養護経験者（いわゆるケアリーバー）や、これまで公的支援につながっていないものの、様々な困難を抱えているこども・若者については、実家など頼り先がない場合があり、借金を抱える、住まいを失うなど困難な状況に陥り、犯罪等に巻き込まれることがある。

こうしたこども・若者に対する支援について、現状の課題を整理し、有効と考えられる事業を検討する。

3. 業務内容

（1）児童養護施設等における自立支援に関する調査の実施

①児童養護施設等においてケアリーバーを支援している職員に対し、ヒアリングやアンケート等の手法による調査を実施する

②市が所管する既存資料等の分析を行う

※市内児童養護施設 13 施設に対するヒアリング調査は必須とする。

（2）神戸市において有効な自立支援に資する事業の提案

（1）の調査等を踏まえ、好事例や支援につながらなかったケース（課題）を整理し、課題の原因を分析のうえ、神戸市において有効と認められる困難を抱えているこども・若者の自立支援に資する事業を提案する。

【留意点】

① 国が推進する「社会的養護自立支援拠点事業」等、ケアリーバー以外の公的支援につながっていないこども・若者への支援に資する事業も提案に含めること。

② 困難をかかえるこども・若者に対する自立支援を行う団体（市内児童養護施設等）が、神戸市における理想的な自立支援について自由に意見交換ができる場を設け（例：ワークショップ等）、それらの意見も事業提案の内容に反映すること。なお、意見交換を行う前に以下 a～b を実施すること。

a) ケアリーバーだけでなく、公的支援につながっていないこども・若者に対する支援を行っている民間団体等からの取組紹介

b) 「社会的養護自立支援拠点事業」の説明

※ 意見交換の実施にあたっては、事前に神戸市と協議すること。